

掲載日 2026 年 6 月 25 日

## 当院において治療を受けられた患者・ご家族さまへ

## 下記研究へのご協力をお願い

当院では、診療の質の向上および医療の発展を目的として、以下の研究を実施いたします。

研究においては、患者さまの情報は個人が特定されない形で使用いたします。

なお、本研究は当院倫理・治験等審査委員会の審査・承認を受けております。

(申請番号： 2026 - 03 受付日 2026 年 5 月 29 日)

1	研究の名称	当院入院患者に対する自重レジスタンストレーニングの適切な負荷量の調整
2	研究の対象となる方	当院回復期病棟・一般病棟に入院している65歳以上で起立・着座動作が可能な患者20名とする。
3	目的・意義	当院入院患者に対するリハビリプログラムの立案においてより適切な運動負荷量を設定するために、InBodyや徒手筋力計などの機器を用いて自重トレーニングの効果判定を行い、その成果を日本慢性期医療学会、愛全会学術研究発表会で発表するため。 根拠のある負荷量の設定が可能となることで、患者一人一人に適したリハビリを提供することができ、患者の能力を最大限に引き出す一助としたい。
4	研究方法・研究期間	当院回復期・一般病棟に入院している患者に対し、通常のリハビリに加えスクワット・カーフレイズのスロートレーニングを6週間(週3回頻度)実施。1セットの反復回数を「最大反復回数から求めた推定%1RM相当」×〇回×3セット=2100(目標仕事量)の計算式に当てはめ患者毎に負荷量設定を行う。初回・3週後・6週後のタイミングで骨格筋指数・位相角・膝伸展筋力などの評価を行い、経時的変化を追う。
5	研究に使用する情報と収集方法	当院回復期病棟・一般病棟に入院している65歳以上で、上記の計算式で算出した負荷量設定に則り定期的なトレーニングを実施できた患者のうち、各種データの欠損がなく6週間継続できた患者20名を対象とする。定期評価で用いるリハビリ指標はそれぞれ対象となる患者のリハビリカルテから抽出。骨格筋指数、位相角はInBodyデータから抽出する。
6	個人情報の取り扱い	抽出した患者データについて、個人名を匿名化し、各種評価データから個人を特定できないようにする。具体的な発症日や入院日等の日時は公表しない。
7	研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスクとその対策	特になし。
8	情報等の保管及び廃棄の方法	個人情報を取りまとめたデータファイルについては暗証番号によるロックをかけ、研究終了後は一定期間経過後に破棄する。データはリハビリ部内のPCのみで使用する。
9	研究に関する情報公開の方法	愛全会学術研究発表会、日本慢性期医療学会にて発表予定。
10	お問い合わせ	この研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、この研究にご了承いただけない方は、令和8年8月31日までに下記の研究責任者までお申し出下さい。 その場合においても、患者さまの不利益が生じることはございません。 医療法人愛全会 愛全病院 部署： リハビリテーション部 研究責任者： 村上順哉 連絡先： 011-572-5330